

OPEN SOUND DATA 国鉄 381 系

操作説明書

2020/03/20



1. はじめに

今現在も西日本で若干ながら活躍している、振り子式の国鉄(JNR)の直流特急電車 381 系をモチーフにしたサウンドデータです。MT54 に近い音である MT58 と、加速性能のために急行型と同じ歯車比、天井がスッキリした特徴の特急電車で、JR 西日本で多く活躍していました。サウンドデータとしては、リニューアル後のものにもそのまま使用できますので、ぜひお手持ちの 381 系をサウンドでパワーアップさせてみてください。

2. 対応機種

ESU 社 LokSound V5, 5 micro

※LokSound 4、LokSound Select には使用できません。

3. ファンクション一覧

F0	ヘッドライト・テールライト	
F1	パンタ上ゲ・ブローワー・走行音	
F2	警笛	
F3	AUX1 [1]:室内灯出力	
F4	ATS・ATS 確認	※後述する操作手順有り
F5	非常制動	約 30%高減速度 ※後述する操作手順有り
F6	力行保ち/抑速	※後述する操作手順有り
F7	音量	
F8	レールジョイント	
F9	未使用	
F10	フレンジ	
F11	手笛/ベル省略	※後述する操作手順有り

F12	開扉→ベル 1 →閉扉	
F13	開扉→手笛→閉扉	
F14	開扉→ベル 2 →閉扉	(旧型ベル)
F15	CP 強制起動	
F16	電制切	
F17	ブレーキ試験	(停車時)
F18	ABB	

4. 詳細な操作方法

4.1. F4 ATS・ATS 確認

走行中：

【F4=ON】で ATS 警報鳴動、実車同様 5 秒以内に【F4=OFF】で ATS 確認操作とし、警報音が ATS 確認音に変わります。停車後数秒で自動復帰して ATS 確認音が鳴りやみます。

* ATS 確認音は「確認操作後」にスロットルを 230 以上に上げれば強制解除できます。

* 5 秒以内の確認操作に失敗した場合は ATS 警報音持続のまま非常ブレーキが動作し、強制的に減速を開始し強制停車後数秒後に警報停止します。

* ATS の確認失敗(F4)、または F5 での非常ブレーキ動作による強制停車の復帰手順

F4(ATS)操作による非常ブレーキ動作は**停車後**暫くした後自動復帰します。

F5 操作による非常ブレーキでは

- ① 当該ファンクションを OFF にすると**停車直前**で復帰します。
- ② ガッツリ停車させたい場合は停車後に当該ファンクションを OFF にして下さい。

停車中：

【F4=ON→OFF】で ATS 投入音

4.2. F6 力行保ち/抑速

惰行中に F6 を ON してからスロットルを上げると力行保ち、下げると抑速ブレーキになります。

4.3. F1 1 強制閉扉 F1 2 ,F1 3 ,F1 4 ,F20 ドア開閉音

ドア開閉音操作の時に F1 1 を ON,OFF するタイミングで発車ベルを省略または短縮させたり手笛を省略する為に使います。

1. F12,F1 3 ,F1 4 等のドア開閉音操作は走行中に ON にしておけば停止と同時にドア開き音が出ます。
2. ドア開き停車中ではスロットルを上げても起動しないようになっています。
3. ドア開き停車中に予めスロットルを上げておけばドア閉め後に自動的に起動を開始します。

4.4. F18 ABB

- ① ON すると空気遮断機音と同時に主変圧器ブローと CP が停止します。
- ② OFF すると暫くした後復帰し主変圧器ブローが起動します。

* 灯火類とは連動させておりません。

5. 著作・連絡先

本データの著作権は以下の制作者が有します。

- ・MB3110A
- ・うえだねじろう
- ・栃木総合車両所
- ・ともん一刻

OPEN SOUND DATA のホームページを参照して下さい。

<https://desktopstation.net/sounds/>



以上

